

パーキンソン病および関連疾患における酸化ストレスの病態に及ぼす影響に関する検討

1. 研究の対象

2001年1月1日以降で文書による同意が得られている、あるいはオプトアウトがなされている、パーキンソン病、多系統萎縮症、進行性核上性麻痺、待機的腰椎麻酔下手術例あるいは当科受診患者で神経学的診察および画像所見で器質的な中枢神経疾患を否定できた者

2. 研究期間

倫理委員会承認日～2026年1月31日まで

3. 研究目的・方法

本研究ではパーキンソン病患者およびその関連疾患患者、健常対象者を対象とした症例対照研究を行う。脳脊髄液および血液内の酸化度を Reactive Oxygen Metabolites Test (d-ROMs テスト)で、抗酸化力を Biological Anti-oxidant Potential Test (BAP テスト)で測定し、各項目を比較検討する。今後の病態評価や治療効果判定などの臨床研究への発展に役立つ。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：脳脊髄液

情報：罹病期間、重症度、合併症、画像検査、血液検査所見、MDS-UPDRS (Movement Disorder Society version Unified PD Rating Scale) part III スコア

5. 外部への試料・情報の提供

研究責任者へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行い、対応表は岩手医科大学脳神経内科・老年科の研究責任者が保管・管理する。全ゲノムデータの公的データベースへの登録を希望しない場合は、登録開始決定後、登録開始の3か月前までに郵送、ホームページ等で連絡方法を提示する。

6. 研究組織

【研究責任者】

岩手医科大学脳神経内科・老年科 前田 哲也

【研究分担者】

岩手医科大学脳神経内科・老年科 高橋 健太

【共同研究者】

長崎大学運動障害リハビリテーション分野 佐藤 克也

7. 研究費および利益相反

本研究は、岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野講座研究費により運営されます。本研究に関わる研究者は、特別な利益相反状態（研究者が企業からなんらかの利益を得る状態）はなく、参加者にも利益相反による不利益が生じることはありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて参加者もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも参加者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：高橋 健太

岩手医科大学 脳神経内科・老年科

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1

電話 019-613-7111（内線 6432）

研究代表・責任者：前田 哲也

岩手医科大学 脳神経内科・老年科分野

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通 1 丁目 1-1

電話 019-651-5111（内線 6432）